

私たちを取り巻く“生きづらさ”を解きほぐす
～これまでの社会の“ふつう”を問い直すことから～



地域交流部会

府立人研だより

大阪府立学校人権教育研究会事務局
2024年6月18日 第5号発行

今年度は、7月5日(金)に大阪市内北・南(合同)、北河内、南河内、7月12日(金)に豊能・三島(合同)、中河内、泉北・泉南(合同)の6つのブロックの地域交流部会を開催します。所属校の地域以外の部会にもご参加いただけます。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

豊能・三島(旧1・2学区)

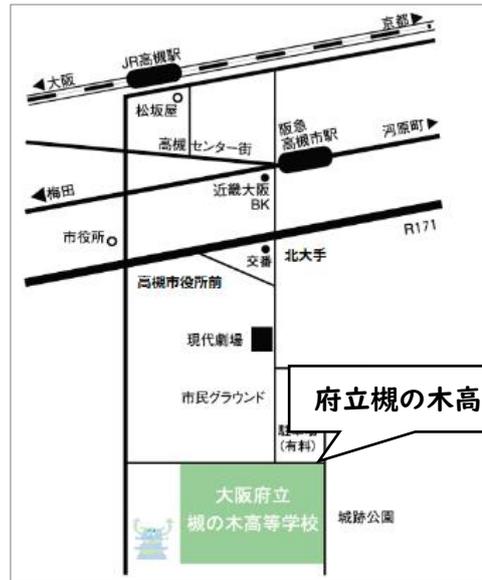
日時: 7月12日(金)14:00~17:00
会場: 府立槻の木高等学校 会議室

インクルーシブな地域連携へ ～高校生がつくるふれあい冬まつり～

今回の地域交流部会は、第1部では「障がいのある人と高校生や多くの人があい、ふれあい、交流できる場を」を合言葉に、毎年1月第2土曜日に高槻市の障がい者福祉センターで開催される「高校生がつくるふれあい冬まつり」の取り組みについて、実践報告をしていただきます。高槻市内の府立学校6校と障がいのある方をはじめ地域の方々との交流からインクルーシブな交流、集団づくりをどのように行っているのか考えていきたいと思います。

第2部では、子どもたちが部落問題学習に取り組む中で自分たちにもできることがないかを考え、学校の中で課題解決を行った取り組みについて、箕面市立第二中学校から実践報告をしていただきます。

異校種間の実践交流での活動を通して、インクルーシブな地域連携とは何かを考えます。



高槻市城内町2-13

東海道本線JR京都線「高槻」駅から南へ約1,000m

阪急京都線「高槻市」駅から南へ約700m

大阪市内北・南(旧3・6学区)

日時: 7月5日(金)14:00~17:00
会場: 北御堂(本願寺津村別院) 2階 津村ホール

ささやかな出会いの日 -地域で「人」を支える-

大阪市の災害時避難場所にも指定されている北御堂をお借りし、開催します。

13:30~14:00

◆受付 ◆北御堂ミュージアム(自由見学)

14:00~17:00

◆「防災と人権、地域防災を考える」
府立大手前高等学校定時制の課程

◆大阪城の見える図書室より書籍案内

◆「生理の本」、「発達障がい当事者の本」、「今読むとヤングケアラーの本」

◆「ヤングケアラー支援について」ふうせんの会 西川ゆかりさん

◆「この町で闘病記を集める意味、そして今日という日」

星湖舎・私設図書館「闘病記の森」代表 金井一弘さん

◆「西成高校の地域連携」府立西成高等学校

◆朗読「学ぶことは、生きること -日本の学校で私は-」

大阪市内の夜間中学校卒業生

可能であれば、当日、自校の学校案内を50部ご持参ください。

また、『採用と人権』、『誇りある青春-定通生徒の青春メッセージ-』等の冊子、OSAKAしごとフィールド等のチラシをご提供いただいております。当日お配りします。



大阪府中央区本町4丁目1-3

大阪メトロ御堂筋線「本町」駅 2番出口すぐ



北河内（旧4学区）

日時：7月5日(金)14:00～17:00
会場：府立芦間高等学校 大会議室

誰ひとり取り残さない学びのセーフティネット 夜間中学校と定時制高校

戦後の混乱期の中で義務教育を修了できなかった方、様々な理由から日本で生活を始めることになった外国にルーツのある方、進路変更を選択した方、その他にも不登校の経験のある方等、さまざまな背景のある方にとって「学び直しの場」として役割を果たす、中学校の夜間学級。さらに、高校生年代の子どもに「高校生」という立場を失わせることなく、学びの場を保障するという「公教育のセーフティネット」の役割を果たす、定時制高校。今回、この夜間学級と定時制高校について、それぞれから実践を報告していただきます。大阪が先進的に取り組み始めて大切にしてきた、夜間中学校や定時制高校について、歴史的経緯も踏まえながら正しく理解を深め、現在も通う生徒たちに向けて大切にしている思い等も併せて、参加者のみなさまと共有します。ぜひ校種の枠組みを越えて、たくさんの方にお集まりいただき、一緒に

に学びを深めましょう。たくさんの参加をお待ちしております。

府立芦間高等学校



守口市外島町1番43号
大阪メトロ谷町線「守口」駅から北へ約400m
京阪電車・京阪本線「守口市」駅から北へ約900m

中河内（旧5学区）

日時：7月12日(金)14:00～17:00
会場：府立布施高等学校 視聴覚室

定時制高校から学ぶ 多様な背景がある生徒に寄りそうとは

生徒が進路変更を考えたとき、どのようにみなさんは生徒にアドバイスをしますか？そしてその生徒が定時制の課程（以下定時制高校）に進路を変更したいと希望したとき、みなさんは生徒に正しい情報を提供することはできますか？今回は、進路変更をする生徒に寄りそった府立学校の実践と、その生徒を受け入れて学び直しに寄りそっている定時制高校に協力をいただき実践を報告していただきます。生徒の大きな決断に際し、「高校生」の立場を失わせることなく、学びの場を保障するという公教育のセーフティネットの役割もある定時制高校について生徒たちに適切なアドバイスができるためにも、情報を共有できる場になればと思います。また、最近では外国籍・外国にルーツのある生徒も増えてきています。定時制高校も例外ではありません。さまざまな背景のあるすべての生徒が安心して過ごせる場をどのように提供しているのか、定時制高校の

授業づくり・クラスづくりをヒントに参加者のみなさんと一緒に考える機会として企画をしました。ぜひ、ご参加ください。

府立布施高等学校



東大阪市下小阪3丁目14番21号
近鉄奈良線「八戸ノ里」駅から南へ200m
※急行・準急はとまりません。鶴橋・布施方面からは大和西大寺行・東花園行の普通にお乗りください。



南河内（旧7学区）

日時：7月5日(金)14:00～17:00

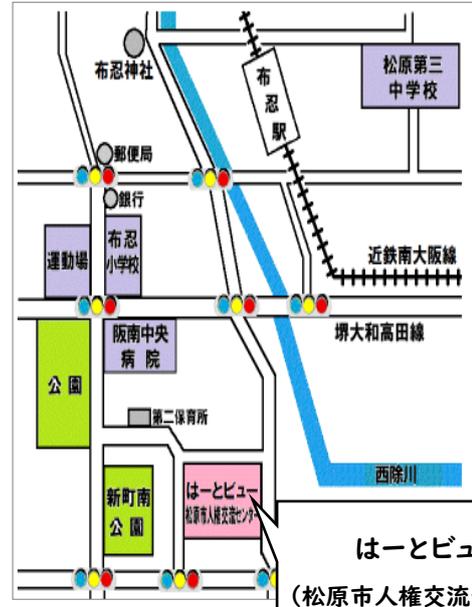
会場：はーとビュー（松原市人権交流センター）
2階 ミニホール

みなかわカフェ

～生徒を支える場、人、アイデアと出会う～

生徒をとりまく課題をほぐし、チカラを引き出していくポイントは何でしょうか。昨年度は、ケース会議の模擬体験を通して、生徒に何が起きていて、どうして困っているのか、課題の背景をチームでどのようにとらえていくのか考えました。しかしそれだけではなく、生徒の願いや希望、地域とのつながりといったポジティブな要素にも光を当てていくことが、生徒をエンパワーするカギとなり得るのではないのでしょうか。

今年度は、生徒のストレンクス（長所、強み）を引き出す「地域の資源との出会い」を企画しました。地域で生徒や保護者の支援に関わっておられる2つのNPO団体をお招きしています。当日はぜひ各現場で悩んでいる事例を持ち寄ってください。それぞれの事例に対してどのようにアプローチできるかご助言いただけるお土産付きです。生徒だけでなく私たち教職員にとっても、学校現場に戻ってからもずっとつながってほしいと思える場や人、アイデアにたっぷり学びましょう。



松原市南新町2丁目141-1
近鉄南大阪線「布忍」駅から南西へ約800m

泉北・泉南（旧8・9学区）

日時：7月12日(金)14:00～17:00

会場：泉佐野市立佐野中学校

「いま、なぜ夜間学級なのか？」 学びと進路を保障する公教育をめざして

今年度、泉佐野市立佐野中学校に夜間学級が開校しました。「いま、なぜ夜間学級なのか？」そこには、さまざまな社会的な背景や課題があり、当初の想定より多くの生徒が入学したそうです。夜間学級の募集要項には「中学校を卒業していない人、または実質的に十分な教育を受けられないまま卒業した人で学び直しを希望する人」と書かれています。ここから、どんな生徒像や学校での学びをイメージするのでしょうか？夜間中学校からは、夜間中学校の役割と今、通ってくる生徒の実態をお話していただきます。

そして夜間中学校を卒業する生徒たちの進路選択の1つに府立学校があります。支援を必要とする生徒たちにどのような進路や学びのサポートをすることができるのかを成美高校の取り組みからセーフティネットとしての公教育の役割についてみなさんと一緒に考えていこうと思います。



泉佐野市羽倉崎4-3-12
南海本線「羽倉崎」駅から北へ650m
JR関西空港線「りんくうタウン」駅から南へ900m

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内
(逡送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-Mail furitsujinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

HPをリニューアル
しました!



「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。